



意見を述べる参加者（中央公民館）

踏まえて、町の独自の環境保全に関する計画を策定するもので、5年を周期に10年間の長期的な計画です。県内では、策定している自治体が少なく、邑楽郡内では初めてで、これから2年間かけて策定していく予定です。

信号機の設置

Q 橋本商店前十字路は、見通しが悪いので信号機を設置できないですか。

A この十字路は、見通しが悪いので信号機の設置については、すでに町から館林警察署に申請してあります。しかし、県から申請結果の連絡は受けていないため、すぐに設置できるかどうかわかりません。交通量も激しい場所なので再度確認し、要望をしていきたいと思えます。

広域公共バス運行経費

Q 広域公共バスが増便されれば利用者も増えると思えます。町の広域公共バス運行経費負担金はどれくらいでしょうか。

A 町内には2路線あり、いずれも3市町で経費を負担しています。館林・明和・板倉線は、1日平均50人の乗車があり、年間78万円を負担しています。また、館林・明和・千代田線は、1日平均67人の乗車があり、年間193万円を負担しています。増便については今後検討したいと思えます。

市町村合併問題

Q 合併問題についてよく聞かれるようになりました。今後どのように進むのですか。

A 最初に町民皆様に議論を高めていく必要があると思えます。過去の例では、昭和30年に3村が合併し、62年から63年にかけて館林市と合併すべきと町民座談会を進めた後、アンケート調査の実施で、賛成39・0%、反対40・3%の結果により、白紙の状態になった経緯があります。国では合併を推進しているため、昨年12月に町議会でも広域行政研究会を組織したほか、町でも合併問題調査研究会を設置し、合併するしないだけでなく事前に問題を議論していきたいと考えています。

農業集落排水事業

Q 江口地区の下水道事業について、どのように計画しているか教えてください。

A 江口地区の下水道事業については、農業集落排水事業で取り組んでいく計画です。昨年、農業集落排水事業推進協議会を設立し、現在は集落排水事業の意識高揚を図る期間であり、事業化する年度は白紙の状態のため、管路の設計はこれからです。

地元野菜を学校給食に

Q 地元で取れた野菜を学校給食

に使用するようですが、何年ころを目途に計画を進めていますか。また、どのような団体が参加していますか。

A 昨年設立した学校給食等地元産農作物利用促進協議会で、小・中学校、幼稚園、保育園も含めた給食について地元産の農産物を供給していくことと推進を図っていく予定です。構成は、学校長、PTA会長、農業生産団体代表者、生活改善グループ代表者などで組織し、今年度から具体的に進め方を協議していきたいと思えます。



意見を述べる参加者（田島集会所）

役場庁舎の整備

Q 災害等が発生したときの避難場所ということを考えて新庁舎の検討を1日も早くしてほしいと思えます。

A 役場庁舎整備検討委員会で昨年12月から5回ほど検討した結果、2月25日に役場庁舎は建て替えることに意見が一致したことの答申を得ています。平成14年度中に役場庁舎建設委員会（仮称）を

設立し、議論を高めながら敷地や建物規模などを慎重に検討していただくことを考えています。

特別養護老人ホーム

Q 介護保険と特別養護老人ホーム「和の郷」の関係について説明してください。

A 介護保険は、介護の度合いによってサービスを受けることができ、自ら受けたらサービスを選択できますので、ケアマネージャーに申し出ていただきます。

また、特養施設「和の郷」は、要介護1以上のかたが入所できる施設で、定員は50人です。その他、介護サービスとしてショートステイが5人、デイサービスセンター1日30人が利用できます。また、介護保険施設ではありませんが、ケアハウスに15人入所できます。その他、在宅介護支援センターを「和の郷」に委託して、介護に関わる相談を受けたり申請の指導を行っています。



特別養護老人ホーム「和の郷」